

日本東洋医学会関東甲信越支部役員会 議事録

2024年10月27日(日)12:45～ 昌賢学園まえばしホール

参加:代議員+都県部会会長 65名中 33名

欠席:32名(委任状あり 30名) 以上により本役員会は成立しました。

議事進行:支部長 並木隆雄(国際医療福祉大学成田病院)

1. 各都県部会からの報告および今後の支部学術総会の予定

【各都県部会】

群馬県:今回の支部総会のお礼と報告

栃木県:10月の栃木県茨城県合同県部会の報告(10/6開催)

長野県:11月17日(日)松本市駅前会館

神奈川県:11月24日(日)神奈川県総合医療会館

千葉県:2025年2月2日(日)千葉大学亥鼻キャンパス

埼玉県:2025年2月11日(火・祝)埼玉医科大学かわごえクリニック

東京都:未定

新潟県:2025年9月7日(日)新潟ユニゾンプラザ

(本年度は2024年9月8日(日)開催)

【今後の日程】

2025年は支部会中止

第81回(2026年) 茨城県部会(国際会議場を予定している)

第82回(2027年) 千葉県部会

第83回(2028年) 新潟県部会

第84回(2029年) 長野県部会

2. 会計報告(及川哲郎会計担当)

2023年度の収支報告(資料あり)

支部総会の赤字が100万以上になっている。

LIVE配信は赤字になるので考えて導入した方が良い。

2023年度の赤字分は支部の貯金から補填したが、多くはないので、

今後黒字になるように開催・参加費の増加?⇒人数が減る可能性もある、

3. 第75回学術総会の準備状況について(準備委員長 砂川先生より)

会頭:久光正 先生(昭和大学)

名誉会頭:石野尚吾 先生

実行委員長:川添和義 先生

準備委員長:砂川正隆 先生

テーマ:東洋医学のエビデンス~漢方・鍼灸の実力と未来~

日時:2025年6月6日(金)~6月8日(日)

場所:京王プラザホテル

■関東甲信越支部 10 都県でシンポジウムを開催

【経過】

・プロモーションビデオ完成

・LIVE 配信は 700 万円くらいかかるので行わない

・オンデマンド配信は必要であればマナブルを利用して行う

・演題募集は 11/30 まで延長予定

・昨年度開催の大阪では参加は 3500 名程いたが赤字だった。赤字(1300 万円)

▶来年度は参加者を増やし、参加費の増額、展示業者やスポンサーセミナーを増やすことで黒字を目指す

★今後準備委員(対面)

2024 年 2 月 24 日(祝日) 10-13 時(予定) 場所:昭和大学内(予定)

地区・支部役員会も同時に行う予定(各県 1 名以上の参加をお願いします)。

4. 地区委員会からの報告(地区委員長 新井先生より)

・生薬治療の実態調査▶Web アンケートで再調査する予定

・オンライン服薬指導

・オンラインによる煎じ薬対応薬局リスト▶ホームページに掲載、患者さんに渡して OK

・医師への普及啓蒙▶煎じ薬を用いた症例報告を『漢方の臨床』などに連載し、ホームページに掲載

会員有志で毎月投稿(各都県部会は 10 ヶ月に 1 回程度担当)

・煎じ薬の増量の仕方がわからない?という声があるため、来年の学術総会でセッションを設ける予定である。

5. (検討事項 2025 年度以降の春季教育講演会の継続について、審議後、投票を行った

結果

賛成多数で 2025 年以降の春季教育講演会を正式に休止とすることとなった。

なお、同時に行っていた、役員会は、オンデマンドなどで開催を検討する。

6. その他

・倫理指針(学会発表での症例報告を行う際の倫理指針の変更)

▶日本東洋医学会の HP に掲載

※日本東洋医学会学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針

・関東甲信越支部のホームページの活用

▶患者さん向けの動画を掲載予定

「こんな時には漢方を!」のような動画、加えて専門医リストも掲載する

・国際用語としての「Kampo」（漢方）の問題

➡中国の医学と捉えられるため、『Japanese Traditional Medicine』として
対応していくことが提案されている

・次回の役員会

➡2024年2月24日（祝日）10-13時（予定）

場所：昭和大学内（予定）または、都内適地

※総会の準備委員会も含めての開催